

令和 7 年度（2025 年度） 事業報告書

自 令和 7 年（2025 年）4 月 1 日

至 令和 8 年（2026 年）3 月 31 日

1 教育事業（公 1 事業）

（1）PMF 2025 オーケストラ・アカデミー教育

23 の国や地域から 95 名がアカデミー生として参加し、会期中、セクション練習や全体リハーサルなどを通じたオーケストラ教育を実施。首席指揮者にはマレク・ヤノフスキを、客演指揮者には PMF 修了生でもあるカーリーナ・カネラキスを招聘し、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、アメリカのメジャーオーケストラ等のメンバーが指導にあたった。

また、東京公演を含め 9 回のオーケストラ演奏会のほか、室内楽演奏会等に出演し、教育の成果を披露した。

（2）PMF 2026 オーディション

インターネットを利用することで、幅広い国・地域から受験者を募集し、より質の高いアカデミー生を選抜するため、インターネットのオーディション専用ポータルサイトを利用したレコーディングオーディションを実施した。

PMF 2026 においても、PMF 創設者レナード・バーンスタインの基本的理念であるオーケストラ・アカデミー教育を実施する。アメリカの名匠デイヴィッド・ロバートソンと 30 代で欧州名門楽団の首席指揮者をつとめるライアン・バンクロフトが指揮するほか、PMF ヨーロッパ、PMF アメリカの教授陣がアカデミーの指導にあたり、主にオーケストラ・プログラムの教育を行う。コンサートツアーを含め、オーケストラ演奏会、室内楽演奏会等に出演し、教育の成果を披露する。

オーディション結果（2026 年 6 月 1 日現在）

○オーケストラ・アカデミー合格者数 89 名（受験者：1,375 名 67 カ国・地域）

出身国・地域の内訳（28 カ国・地域）

アメリカ（26）、韓国（11）、日本（10）、スペイン（6）、フランス（4）、カナダ・中国（3）、オーストラリア・コロンビア・ドイツ・イタリア・台湾（以上各 2）、オーストリア・ボリビア・ブラジル・コスタリカ・キューバ・デンマーク・フィンランド・オランダ・マカオ・ポルトガル・シンガポール・スロベニア・トルコ・イギリス・ウズベキスタン・ベネズエラ（以上各 1）

○コンダクティング・アカデミー合格者数 3 名（受験者：91 名 33 カ国・地域）

出身国・地域の内訳（3 カ国・地域）

フランス、日本、シンガポール

2 演奏会事業（公2事業）

PMF 2025 では、会期を 2025 年 7 月 9 日（水）から 7 月 29 日（火）として、札幌市内、苫小牧市、江別市、小樽市、遠軽町、奈井江町、函館市、東京都での演奏会のほか、PMF リンクアップ・コンサートや公開マスタークラス等も含め、計 32 公演を行った。（総来場者数 22,655 名）

PMF 35 回記念事業「PMF ホームカミング・オーケストラ演奏会」では、PMF 修了生ダヴィッド・ルンツ指揮の下、世界各地からこの日のために集まった約 40 名の修了生が世界一流の演奏を披露。これまでの歴史と教育事業の好循環を体感していただける PMF ならではのプログラムとして来場者の深い共感と満足感に繋がった。

会期外には、PMF が主催する音楽普及活動のほか、ご支援いただいた皆様への返礼として PMF 修了生の演奏会の提供、イベントへの参加など多岐にわたり活動している。

PMF 2025 の実施概要は以下のとおり。

・開催地別

札幌市内：25 公演

北海道内：6 公演（苫小牧市、江別市、小樽市、遠軽町、奈井江町、函館市）

東京都内：1 公演

・種 別

PMF 2025 オープニング・ナイト：1 公演

PMF ベルリン演奏会：1 公演

PMF ウィーン演奏会：1 公演

PMF オーケストラ演奏会：3 公演

PMF クラシック LABO ♪：3 公演（音楽普及事業）

五明佳廉&小菅優デュオリサイタル：1 公演

PMF リンクアップ・コンサート：1 公演（音楽普及事業）

PMF 豊平館コンサート：1 公演

PMF アンサンブル演奏会：10 公演

PMF 室内オーケストラ遠軽公演：1 公演

市民ロビーコンサート：1 公演

PMF ホストシティ・オーケストラ演奏会：1 公演

PMF 公開マスタークラス：1 公演（音楽普及事業）

PMF アメリカ演奏会：1 公演

PMF ホームカミング・オーケストラ演奏会：1 公演

PMF 赤れんがコンサート：1 公演

PMF × LovePiano ミニコンサート：1 公演

ピクニックコンサート：1 公演

PMF GALA コンサート：1 公演

3 音楽普及事業（公3事業）

一般の人々が気軽にクラシック音楽に触れることができる機会を提供し、クラシック音楽の普及を図る取組として、以下のとおり実施した。

（１）リンクアップ・コンサート

アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールによる小学生向けの音楽教育プログラムをもとに、札幌の子どもたちに合わせて制作したプログラム。事前に小学校の音楽科学習のカリキュラムに組み込み、授業で曲目や音楽の表現について学び、手作りの打楽器演奏や歌でPMFオーケストラと共演した。市内11校から764人の小学6年生が参加し、これまでに最も多い児童が参加した。

（２）マスタークラス

公開マスタークラスとして、PMF教授陣がアカデミー生に指導を行い、その指導の模様を一般に公開するプログラムを実施した。また、音大生のためのマスタークラスとして、札幌及び近郊で音楽を学ぶ学生を対象に、PMFベルリンのアンドレアス・ブラウ氏が札幌大谷大学及び北海道教育大学岩見沢校を訪問し、フルート専攻生を指導した。

（３）PMFクラシックLABO♪

クラシック音楽をもっと身近に、もっと気軽に楽しんでもらうための音楽講座として「PMFクラシックLABO♪ ～東京文化会館ミュージック・ワークショップ～」を開催。小学校低学年までを対象とした前半2回は、オフエンバックの「天国と地獄」、ビゼーの「カルメン」などの楽曲に合わせて踊ったり、マラカスなどを使って演奏したりと全身で音楽を楽しんだ。小学生から大人までを対象とした3回目は、歌を歌ったり体を叩いてリズムを奏でたりしたほか、リズム楽器の演奏にも挑戦した。

（４）オープンリハーサル

PMFオーケストラ・アカデミー等のリハーサルやゲネプロ（本番直前の全体リハーサル）など、世界一流の指導風景を一般の方に無料で公開するプログラム。会期中に3回実施し、合わせて923人にご来場いただいた。音楽関係者のみならず、小学生から大人まで幅広い世代に、本番に向けた音楽づくりを聴講できる機会を提供した。

（５）ユース・ウイング席の設置、U25割引の実施

クラシック音楽を未来につなげるため、小学生から25歳（2000年生まれ）までの若い世代に、クラシック音楽の魅力やオーケストラの醍醐味を体験していただく取り組み。PMF2025では対象公演を2公演増やし、札幌コンサートホールKitaraで開催した4公演において、オーケストラを一望できる「ユース・ウイング席」を

無料で用意した。また、U25 割引を引き続き実施し、ユース世代がよりクラシック音楽に接しやすい環境を提供した。

(6) 学校DEカルチャー

札幌市が主催するプロジェクト「学校DEカルチャー」の一環として、PMF修了生らの生演奏やトーク、児童の指揮体験などを交えるなど、音楽の楽しさを伝えるプログラムを実施した。小野幌小学校、豊平小学校、川北小学校の3校で実施。

(7) オーケストラ訪問リハーサル

PMF教授のダニエル・マツカワが藤女子中学・高等学校の学生オーケストラを訪問し指導を行った。互いの奏者の音をよく聴き、それぞれのパートの役割を理解することの大切さなど、テクニック以外にも多岐にわたる指導を行った。

(8) 修了生コンサート等

会期外におけるPMF事業の認知度向上及びクラシック音楽の普及、次世代育成への取組として、札幌市内の観光名所や大型商業施設、レセプション会場などで修了生コンサート等を実施した（合計33回実施）。

小さな子どもから大人まで、幅広い世代がクラシック音楽に気軽に親しむことのできるコンサートのほか、音楽を学ぶ学生を対象に、修了生が自身の経験に基づくキャリア形成の助言や合奏指導を行う音楽講座なども実施し、PMFの理念や意義が次世代へ引き継がれる密度の高い学びを提供した。

なお、会期中に実施していた都市型水族館「AOAO SAPPORO」でのコンサートは、好評につき昨年9月から、毎月第2土曜日の定期演奏会として継続実施している。

4 法人の運営体制の充実を図るための取組（ガバナンスに関する取組）

教育事業を中核とする公益活動を持続的かつ適正に推進するため、運営体制の充実、法人運営におけるガバナンス機能の強化を目的とした自主的な取組として、以下のとおり実施した。

（１）「PMF 将来ビジョン 2020 アクションプラン」の進捗管理・評価

中長期的な事業運営の指針である「PMF 将来ビジョン 2020 アクションプラン」に基づき、各施策の進捗管理及び評価を行っている。具体的には、毎年３月の理事会・評議員会において、常務理事からの職務執行状況報告として各施策の実施状況及び成果を報告し、多角的な観点からの検証を行っている。

さらに、当該検証結果を踏まえ、次年度の事業計画及び運営方針の見直しに反映することで、PDCAサイクルの実効性を確保し、戦略的な事業運営及び理事会の監督機能の強化に努めている。

（２）「芸術企画会議」の設置・運営

事業の企画を専門的かつ機動的に検討、構築及び推進するため、専門的知見を有する外部有識者による「芸術企画会議」を設置している。芸術企画会議では、芸術監督及び教授陣の選定、アカデミー教育の企画並びに音楽祭のプログラムの企画等、事業の根幹に関わる事項について専門的見地から検討を行った。これらの検討結果を事業運営及び意思決定に反映することで、外部の専門的知見を活用した意思決定の妥当性の確保及び事業の質的向上を図っている。

（３）「PMF 札幌ラウンドミーティング」の設置・運営

事業成果の検証及び質の向上を目的として、外部有識者等による「PMF 札幌ラウンドミーティング」を設置している。PMF 札幌ラウンドミーティングの委員には、会期中の演奏会や関連事業に参加していただいた上で、会期終了後には幅広い観点から意見交換を行い、事業の実施状況や課題について検証を行っている。

当該意見は次年度以降の事業計画の検討に活用しており、外部の知見を取り入れた継続的な事業改善により、外部性を確保したガバナンス体制の充実に努めている。

（４）運営体制・ガバナンス体制の充実に資する職員研修

国内外の演奏家や指導者等、多様な外部専門人材との協働により事業を実施している特性を踏まえ、これらの者との契約関係における公正性及び透明性の確保を重要なガバナンス課題として位置付けている。

このため、令和７年度においては、PMF 組織委員会の全職員を対象に、フリーランスに係る法制度の趣旨、契約締結時の留意点及びハラスメント防止に関する研修を実施し、適正な契約実務及び倫理的配慮に関する理解の向上を図った。併せて、契約条件の明確化、書面交付の徹底等に関する内部周知を行い、外部人材との健全な関係構築及び契約実務におけるリスクの未然防止に取り組んでいる。

(参考) 理事会及び評議員会の開催実績

理事会

実施日	種別・開催地等	議案	結果
2025/6/5	第1回定時理事会 (札幌)	1 2024年度事業報告 2 2024年度決算報告及び監査報告 3 周年事業等特定費用準備資金積立金の取崩し 4 評議員の選任 5 理事の選任 6 顧問の選任 7 規程の改正(旅費規程) 8 定時評議員会の開催	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
2025/9/12	第1回臨時理事会 (書面)	1 顧問の選任	承認
2026/3/6	第2回定時理事会 (札幌)	1 2026年度事業計画 2 2026年度予算 3 公益充実資金等取扱規程の制定 4 職員給与規程の改正 5 公益充実資金への積立て 6 理事の選任 7 顧問の選任 8 臨時評議員会の開催	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

評議員会

実施日	種別・開催地等	議案	結果
2025/6/30	定時評議員会 (東京)	1 2024年度事業報告及び決算報告 2 評議員の選任 3 理事の選任	承認 承認 承認
2026/3/23	第1回臨時評議員会 (東京)	1 理事の選任	承認